



令和4年度「魚つかみ楽しみ隊2」実施報告書

I 事業の概要

1 期日 令和4年10月1日(土) ※日帰り

2 日程 午前の部 ()内は午後の部

10月1日(土)	
9:30(13:30)	受付開始
10:00(14:00)	出会のつどい【つどいの広場】
10:15(14:15)	魚つかみ(河川プール)
11:00(15:00)	魚を焼いて食べる【つどいの広場】
11:45(15:45)	片づけ・感想記入
12:00(16:00)	解散



3 ねらい

・魚つかみを行うことで大自然を満喫するとともに家族の親睦を深める。

4 対象 家族および一般 ※午前・午後16組

5 応募者数 115名(午前17組60名、午後16組55名)

6 参加者数 午前12組 42名 午後10組 34名 ボランティア4名
計 22組 80名

II 実施状況

本主催事業は今年度5月に、魚つかみ楽しみ隊として実施し、参加者の皆さんに好評をいただいていた企画である。またやってみたいという声が多数あり、第2回目として主催事業を実施することができた。

一回目の主催事業では、魚つかみ体験の注意事項や確認などの説明を口頭で行っていたが、今回はスライドを作成し、内容が目で見えるようにして説明を行った。

その結果、参加者の皆さんには安全に気を付けながら十分に活動を楽しんでいただけた。

当日は晴天にも恵まれ、ちょうどよい気候での開催となった。河川プールに移動してもらい、イワナをすくってもらうことができるように、準備していたタモを配布し活動を楽しんでもらうことができた。前回の主催時に比べ、水量が増加していたため、水深がやや深く小さい子どもは魚を捕まえにくかったという意見があった。河川プールの隅に魚が集まることに気づいた子どもたちが、家族一緒に隅に待ち伏せして楽しそうに魚をすくいあげる様子も見受けられた。



河川プールが広く、魚がつかまえにくかったという過去の主催で出ていた意見を改善し、今回の主催でも、網で河川プールを半分に仕切り、魚をつかみやすいようにした。当日は水の流が速いというアクシデントがあったが、参加者のみなさんには無事に魚を捕獲してもらうことができた。午前の部終了後にも新たな魚を仕入れ、午後参加される方の補充を行ったので、午前・午後でつかんでいた魚の量の格差はなかった。

次に、獲った魚をバケツに入れてつどいの広場に戻り、魚を調理していただいた。BBQ コンロと調理台を各家庭一台ずつ準備し、その場で竹串を通し、塩を振って焼いてもらった。魚に竹串を通す際に事故が無いよう、指導員やボランティアで見守りや補助を行い、安全に活動を行うことができた。その後、設置したテントの中で秋晴れの中自然を満喫しながら焼いた魚を食べてもらうことができた。日常生活では、なかなか体験できない活動なので、多くの方に興味を持っていただきたい。そして今後も情報を発信し、まだ参加されていない方に楽しんでいただける継続した事業となるようにしていきたい。



Ⅲ 総括

1 参加者の感想(抜粋)

- ・ 魚をつかむことができました。塩焼きで食べるとおいしかったです。(子ども)
- ・ 自分でとった魚を食べることができて非常にいい体験だと思いました。(保護者)
- ・ 命の大切さがわかった。(子ども)
- ・ 家族で参加できる自然体験、また期待しています!!(保護者)
- ・ 最後まで魚を捕えられるよう協力していただきました。ありがとうございました。(保護者)
- ・ 魚をつかむのが水深があり難しかった(保護者)
- ・ 生きた魚を調理することは家ではできないことなので参加してよかった。(保護者)

2 成果

- ・ ボランティアに活動を補佐してもらったおかげで、全体の活動をスムーズに行うことができた。
- ・ 炭を提供する際、BBQ コンロをまとめておくことで作業の効率化を図ることができ、家族で魚を調理したり食べたりする時間を多くとることができた。
- ・ 参加者に自分でとった魚を調理するという自然体験を提供することで、何回でも参加してみたいと思う満足していただける主催が開催できた。

3 課題

- ・ ダムから流れ込む水量によって、水深が深くなったり、流れが速くなったりして活動場所である河川プールに影響が出る。天候に関わらず事前に水量の確認を行い、適切に網を設置する必要がある。
- ・ 追い込み網で活動範囲を狭めると、参加者同士の接触や道具がぶつかり、けがにつながる可能性がある。順番を決めて参加してもらうなどの対応が必要だと感じた。